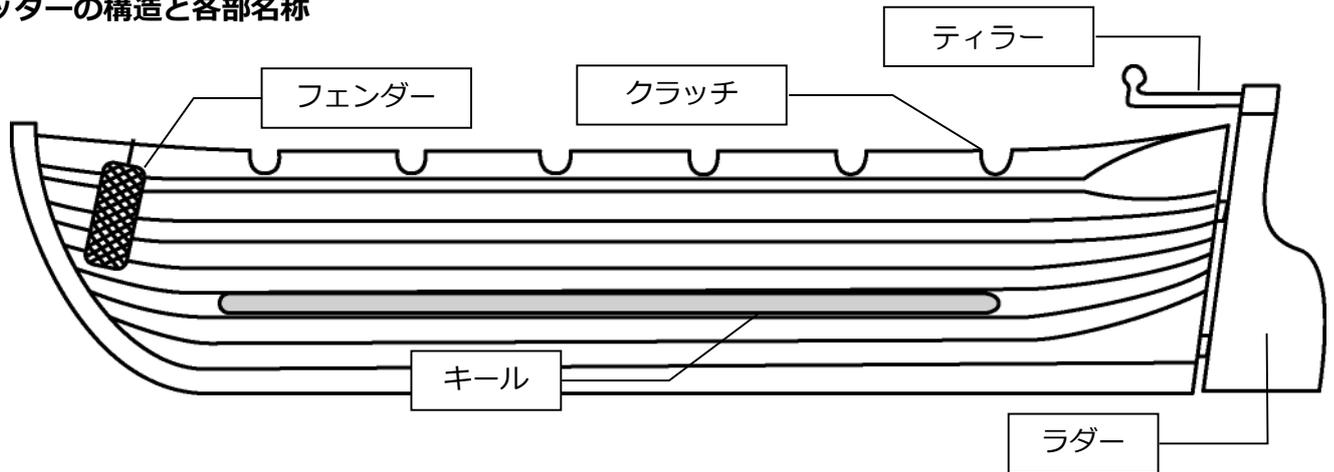
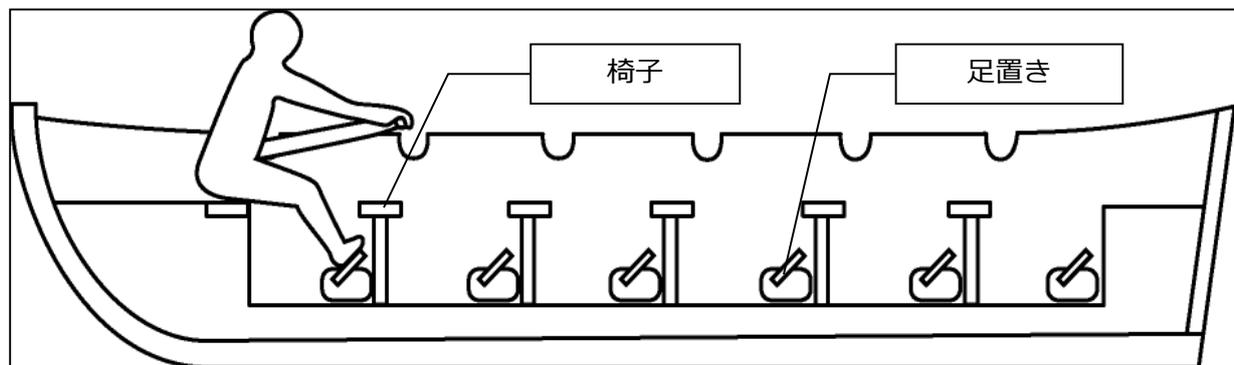


# カッタープログラム

## ●カッターの構造と各部名称



## ●カッターの断面図



## ●カッターについて

カッターという名称の船は、一般的にはなじみの薄いものといえます。もともとは大型船舶に上陸用や人命救助用として積んであったものの一種で、よく似たものは映画の中などで見ることができます。カッタープログラムは、みんなで力を合わせて漕ぐことから、団結力や協調性を養うことを目的としたプログラムです。**遠方（特に鳥居方面）に行くことが目的ではありません。** 鳥居方面へ行く場合は、**約3時間**はかかるとお考えください。

びわ湖青少年の家には、全長9メートルのものが2艇あります。櫂（かい）は通常12本を使い、高校生以上は1人で1本の櫂を、小中学生は2人で1本の櫂を漕ぎます。したがって中学生までは「24人漕ぎ」が基本の構成になりますが、ある程度の調整は可能です。

プログラムの指導はすべて施設のスタッフがおこない、カッターにも艇長（スキッパー）が乗船します。学校での技術的な事前指導は必要ありません。ただし、安全かつ充実した活動をしていただくために、団体行動が素早くできるよう、参加の心構えについての事前指導は徹底しておいてください。

## ●プログラムの組み方

プログラムの時間枠は、おおむね**午前は9:00～12:00**、**午後は13:00～16:00**です。

はじめに、どの時間枠をカッタープログラムに使うかを決め、つぎに児童・生徒数に合わせてグループ分けをします。グループが3つ以上になる場合は交替が必要となりますので、各グループの乗船時間は短くなります。

同じ時間枠で交替がある場合は、前半のグループが帰ってくる様子を見ながら、すぐ準備ができるように、後半のグループは浜辺での散策や水遊び、もしくは自炊場でのクラフト等の活動にされると良いでしょう。また、夏休み期間中にご利用の場合は炎天下での活動になり、他の時期にくらべて体力の消耗が激しく熱中症などの危険もありますので、予定より早めに終了することがあります。

## ●グループ分けの目安

前述しましたように、小中学生は「24人漕ぎ」が基本となります。漕ぎ手が座る場所以外にもスペースがありますので、中学1年生までは最大33人まで乗り込むことができます。（中学2年生・3年生は30人まで、高校生以上は18人まで）

1グループが24人未満の場合は、先生方に入っていただくことになります。詳しくは、下見の際などにご相談ください。

## ●服装・持ち物について

服装はふつうの服（体操服等の動きやすい服装）で結構です。水着を中に着る必要はありませんが、濡れた場合のために、着替え用の下着は余分に持たせたほうがよいでしょう。

6月～9月は半そででかまいませんが、5月・10月・11月は気温の低い日もありますので、軽めの上着・長ズボンも必ず用意しておいてください。さらにレインコートを用意しておけば、少々の雨でも実施することができます。

靴についても通常は濡れることはありませんが、雨の中で実施する場合がありますので、カッター用として別に用意されたほうがよいでしょう。（ウォーターシューズ等）

参加時の持ち物は、タオル・水筒・帽子です。**カバンやナップサック等は不要です。**

## ●お願いとお断り

カメラマンが同行し、浜などで集合写真を撮影される場合、撮影するタイミングや時間を調整させていただく場合があります。スムーズなカッタープログラムの運営にご協力ください。

また、ケガや障がい等がある方について、「水に落ちた場合に、ライフジャケットを着た状態で、自分ひとりで姿勢の維持・呼吸の確保ができない方」もしくは「スキッパーの指示が理解できない方」は、安全確保のため、カッターや救助艇への乗船ができません。あらかじめご了承ください。

なお、上記理由によりカッタープログラムができない場合は、クラフト等をおこなっていただくことができます。下見の際等にご相談ください。



## ●カッタープログラムの原則

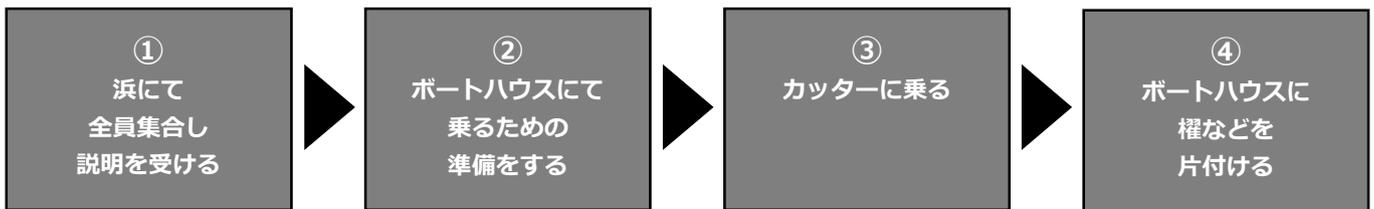
※艇長（スキッパー）の指示に従って行動してください。

※勝手な行動や発言は進行の妨げになり、場合によっては大事故につながる恐れがあるので慎んでください。

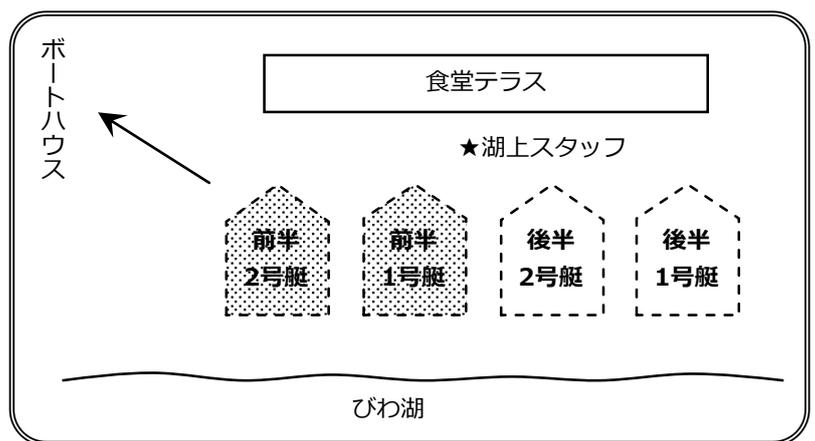
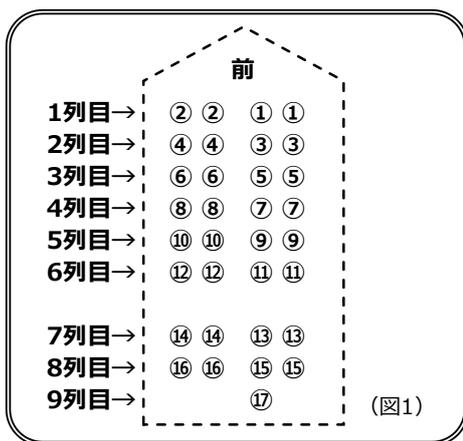
学年構成やプログラム時間、艇の交代時間およびその時の気象状況により、スタッフがエリアや航路を決めさせていただきます。また、気象状況により実施できない場合もあります。

「安全が全てに優先する」ことを1番に考え、プログラム運営をしていきます。

## ●カッタープログラムの流れ



- ① ・カッタープログラム用の服装に着替え、持ち物を確認し、指定された浜辺に集合する。  
 ※服装：運動できる服装（水着でなくても良い）・靴（ビーチサンダル不可）・帽子  
 ※持ち物：水筒・タオル（ナップサック・カバン等は持ち込まないように）・雨具（雨天のみ）  
 ・艇ごとに下記の図1のように横4列で整列し、湖上スタッフより説明を受け、乗船番号を確認する。



- \* 1列目から6列目までの24名（①～⑫）が、はじめの漕ぎ手になります。残りは⑬以降の位置に並びます。⑬以降の人は、湖上で随時交代して漕ぎます。
- \* 同じ番号のペアが、それぞれ1本の權を漕ぎます。1つの番号で内側・外側がありますので、間違えないように並んでください。
- \* 大人の方（先生や指導員）が乗られる場合は、**大人1名は子ども2名分としてお考えください。**

- \* 浜に整列する際は、食堂テラスの方を向いて（びわ湖を背にして）整列してください。
- \* 3艇以上必要な場合は、上記のように並びます。2艇以下の場合も、2号艇がボートハウス側に並ぶようにしてください。

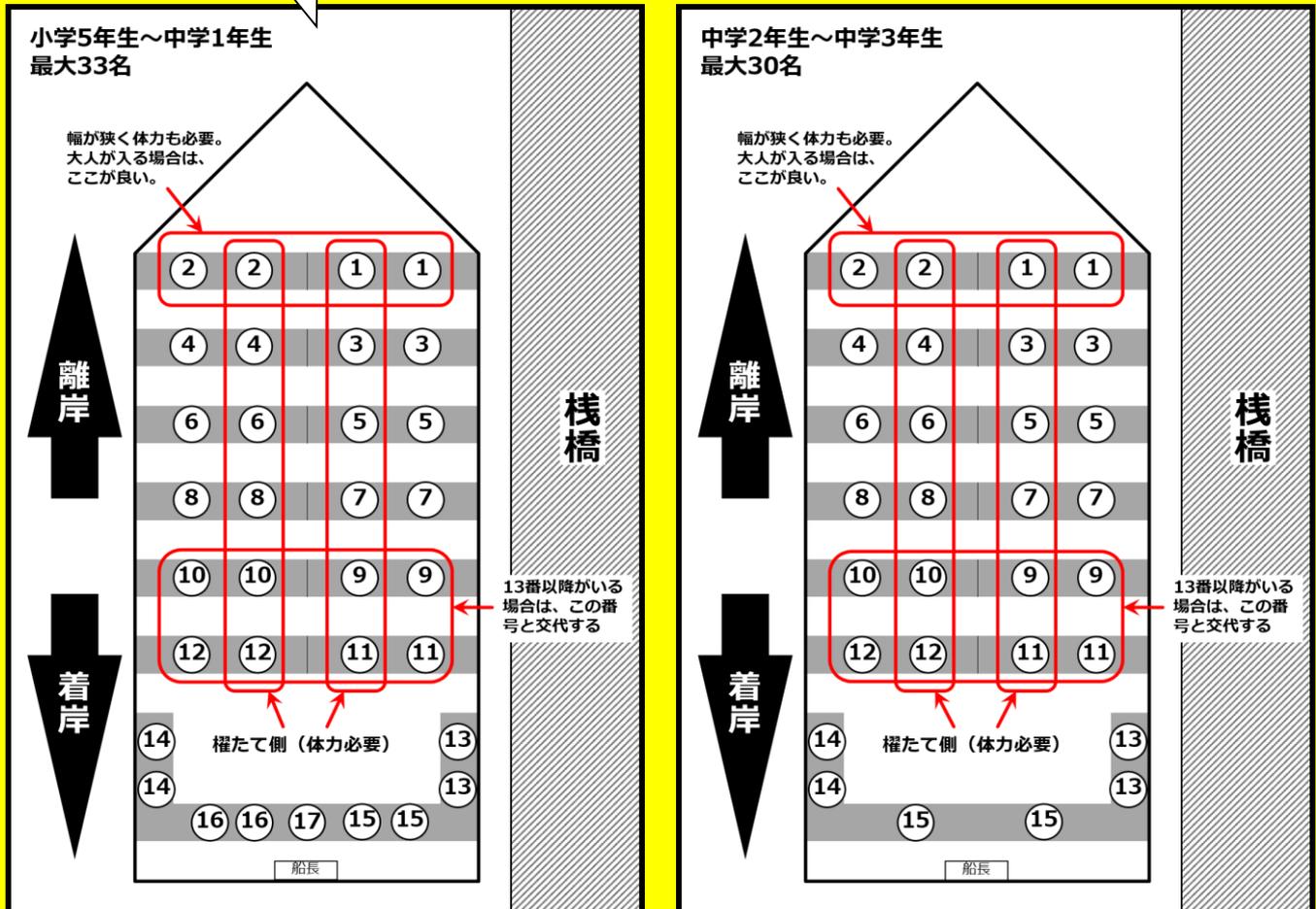
- ② ・艇ごとにボートハウスに行き、ライフジャケットを装着し、2名で1本の權を持ち栈橋まで移動する。  
 ※權を運ぶ時は周囲をよく確認し、2名それぞれが權の端を持ち、バランスよく運んでください。  
 ・栈橋のカッターの前で權を湖上スタッフに渡し、再度列ごとに整列し、操作方法の説明を受ける。
- ③ ・各艇、乗船番号ごとにカッターに乗り、出発する。  
 ※しっかりと艇長（スキッパー）の指示を聞きましょう。
- ④ ・栈橋帰着後、權をボートハウスまで運び（交代の場合は不要）、ライフジャケットを元に戻す。  
 ・再度整列し、湖上スタッフからの講評後、解散。

## ●活動のポイント（より上手に操作するために）

- \* 乗船番号「①」「②」の人や、船の内側に座る人は、体力のある方が良いでしょう。
- \* ⑬以降がいる場合は、原則として乗船番号「⑨」～「⑫」と交代します。（ただし体調や操船状況によっては他の番号でも臨機応変に交代します）  
交代する人がすでに決まっている場合は、「⑨」～「⑫」に配置してください。



席順のヒント



## ●引率者が指導する際、配慮していただきたい点

- \* 服装確認とトイレ確認を済ませ、カッターの艇ごとに整列し、そろったらお声かけください。
- \* タオル・水筒・雨具などの持ち物は、カバン等に入れずに、そのまま持ってきてください。
- \* **整列のヒントを参考に、学校・団体が誰がどのカッターのどの番号にすわるかを決め、実施前日までにカッター座席表をご提出ください。プログラム開始までには、必ず自分の席番号を覚えておいてください。**
- \* 3艇以上の場合、前半から後半がスムーズに交代できるよう、時間配分や交代メンバーの待機のさせ方などの工夫をお願いいたします。
- \* カッター乗船中の漕ぎ手の交代は、艇長（スキッパー）がおこないます。怪我等で交代できない方がいる場合は、事前にお知らせください。
- \* 水に落ちた場合に、ライフジャケットを着た状態で、自分ひとりで姿勢の維持・呼吸の確保ができない方は、安全確保のためカッター・救助艇には乗船することができません。あらかじめご了承ください。